システム設定マニュアル
NI Collabo 360
コラボリンク

目次

はじめに 3
可視化経営システム（VMS）を連携 5
連携する社員を設定 18
制約事項 23
よくあるご質問 25

はじめに

▶ 概要

コラボリンク機能とは、組織・企業を超えて可視化経営システム（VMS）を連携（リンク）するための機能です。
コラボリンクは『シングルサインオン』と『データ連携』の2つの機能から成り立ちます。
本マニュアルでは、特に断りがない限りA社とB社が連携する場合を考えます。



※A社、B社共にNI Collabo 360を導入頂いている必要があります。
詳細は「コラボリンク機能を使用するために必要な条件」を参照してください。

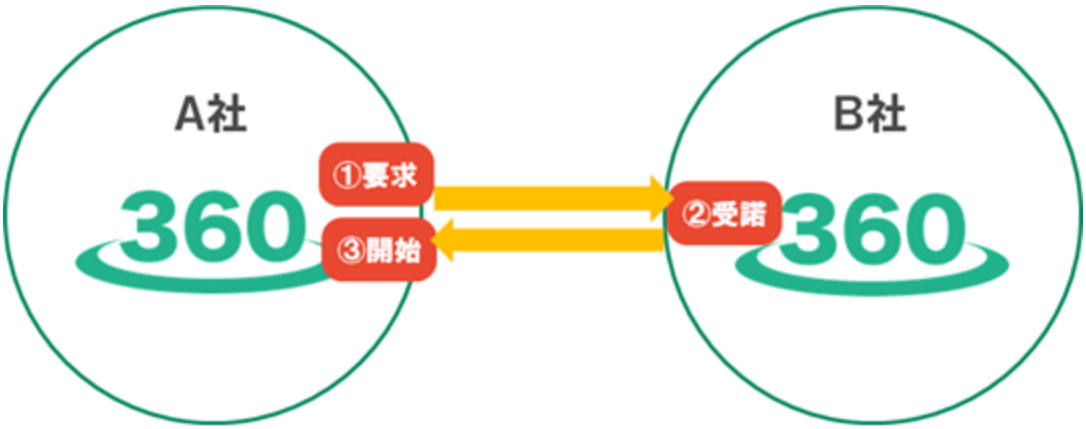
▶ 用語解説

コラボリンク機能で用いる用語について解説します。

用語	説明
ホームサイト	ログインユーザーが所属するサイトを指します。
ホームユーザー	サイトに所属するユーザーを指します。
リンクサイト	コラボリンク機能で連携しているホームサイト以外のサイトを指します。 A・B・Cの3サイトが連携している場合を考えます。 Aサイトの社員にとって、ホームサイトはAサイト、B・Cサイトがリンクサイトです。 Bサイトの社員にとって、ホームサイトはBサイト、A・Cサイトがリンクサイトです。 Cサイトの社員にとって、ホームサイトはCサイト、A・Bサイトがリンクサイトです。
リンクユーザー	コラボリンク機能で連携しているサイトに所属するユーザーを指します。

可視化経営システム（VMS）を連携

コラボリンク機能を利用して可視化経営システム（VMS）を連携するには、以下のステップで設定を行ってください。



Step1.要求

A社のシステム設定画面から連携用のURLをB社に案内してください。

Step2.受諾

B社のシステム設定画面でStep1のURLを使用し、要求を受諾してください。

Step3.開始

A社のシステム設定画面で「リンク開始」ボタンを押してください。

補足

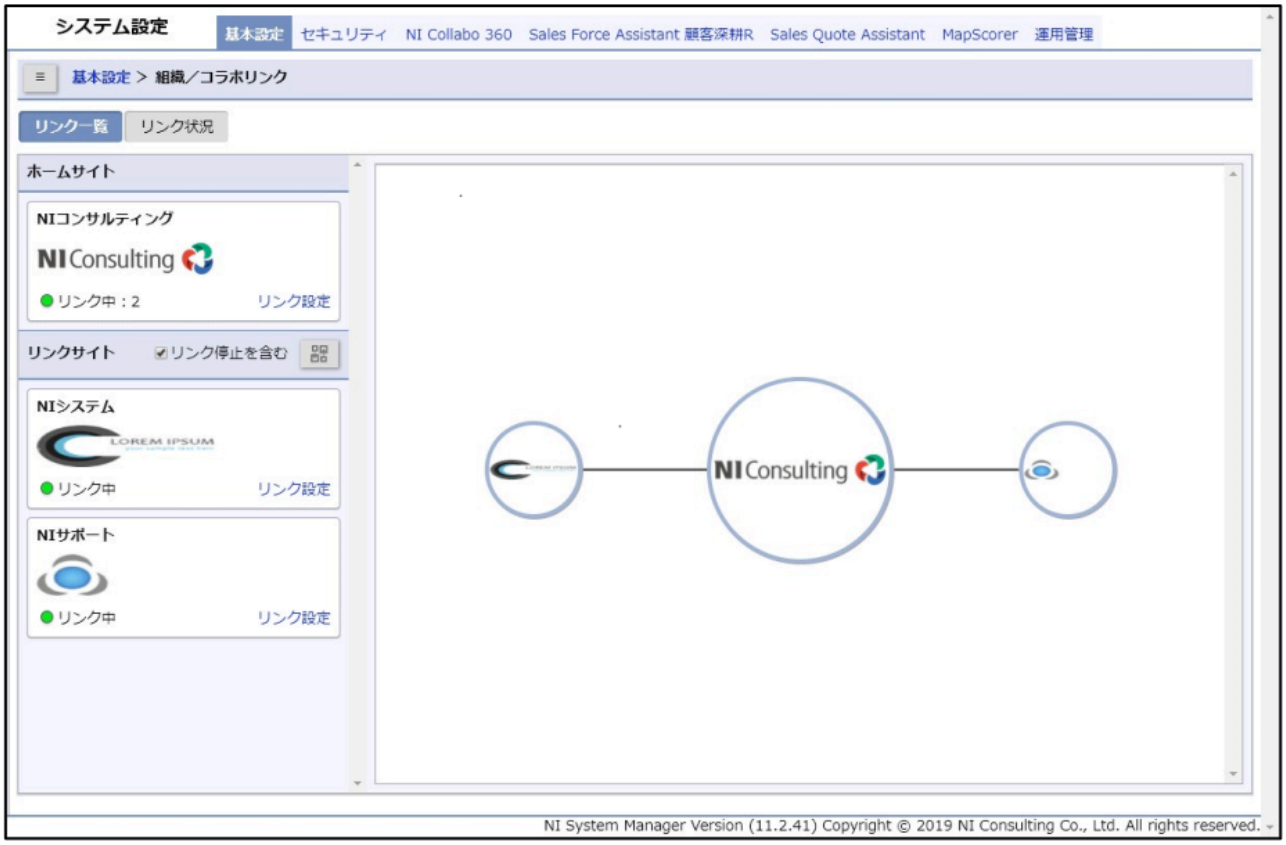
- 社員ごとに連携可否や使用可能な製品・機能を制限したい場合には『訪問』『受入』の設定をする必要があります。
  詳細は「連携する社員を設定する」を参照してください。
  初期状態では、全社員が参照権限で連携します。
- 連携するサイト数は100サイトまで、1サイトあたりの社員数は300名までを推奨します。
  推奨値はサーバースペックや運用状況により異なってきます。
  詳細は弊社担当までお問合せください。

注意

- 連携開始時には、各々のサイトに登録されている社員・部署・役職等の送受信を行います。
  送受信時には一時的にサーバーの負荷が高まることが想定されるため、
  高い頻度でアクセスする時間帯（8:30～9:30、17:30～18:30等）は避けていただくことを推奨します。

※以下の操作は下図の設定画面で行います。
システム設定の「基本設定」より「全般」の「コラボリンク」画面を表示してください。

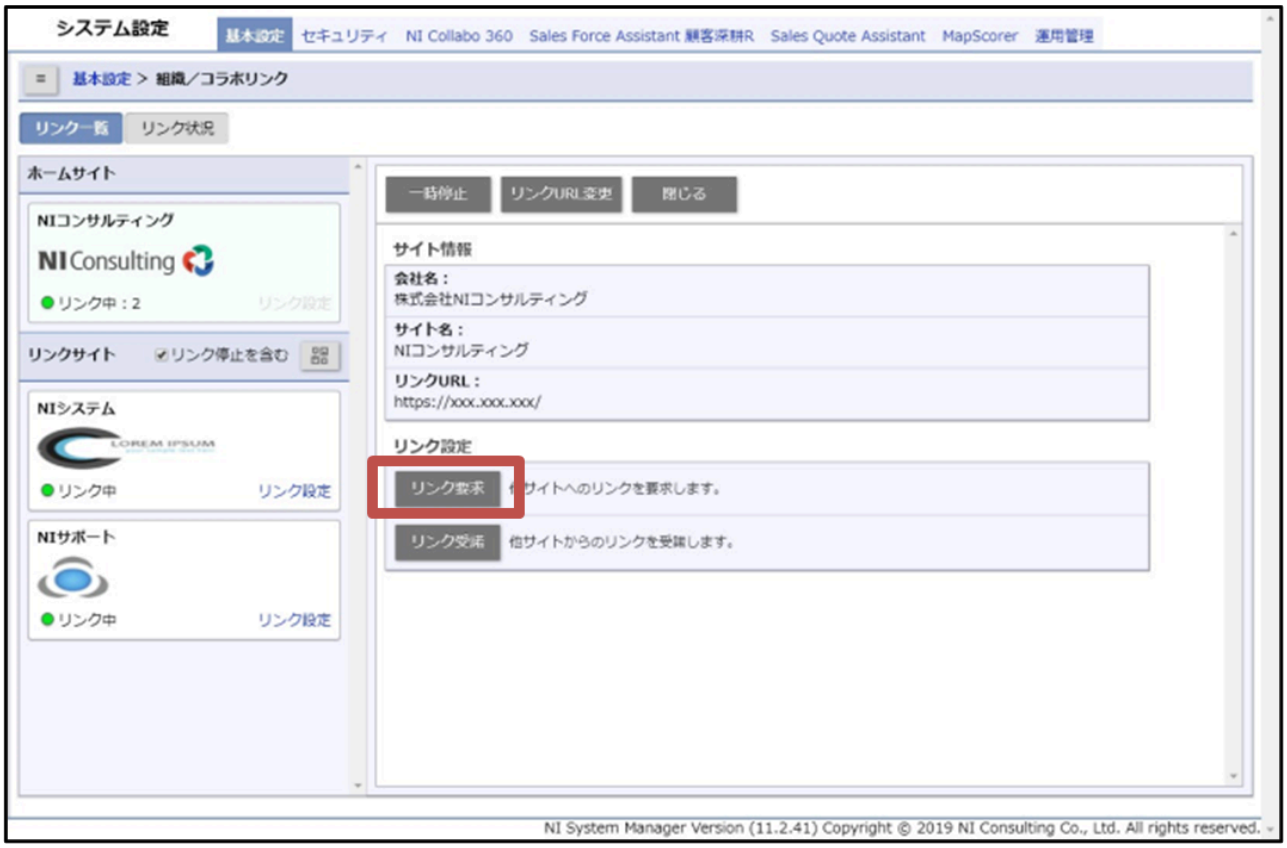
【コラボリンク> リンク一覧画面】



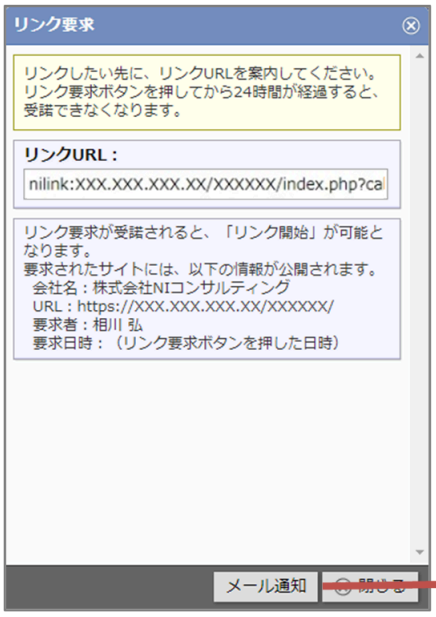
▶ 設定方法

要求

1. A社の設定画面でホームサイトをクリックし、リンク設定欄の「リンク要求」ボタンをクリックします。



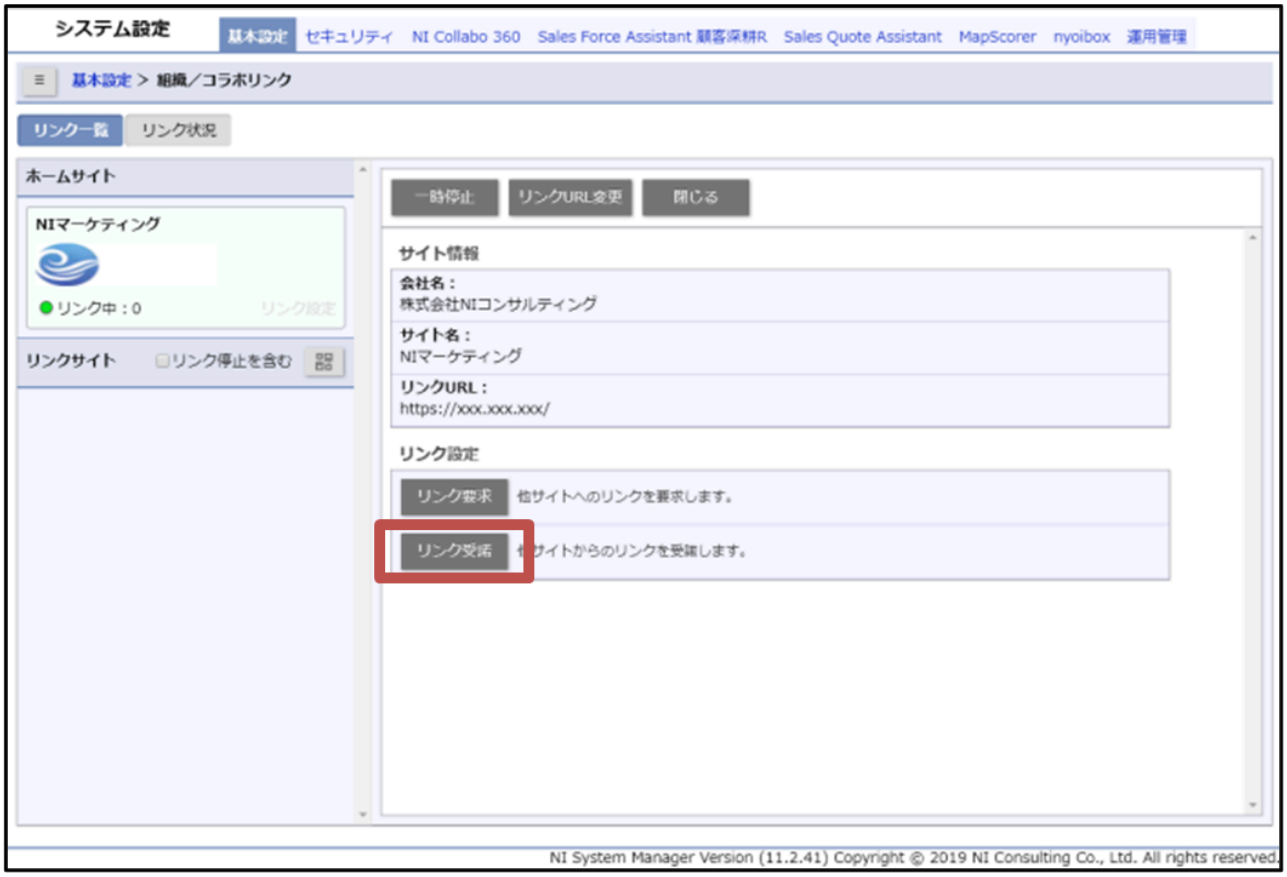
2. リンクURLが表示されます。リンクURLを連携したい先の管理者権限がある社員に案内してください。



ボタンをクリックすると、メール作成画面が表示されます。
メール本文には、リンクURLが自動で転記されます。

受諾

1. B社の設定画面でホームサイトを選択し、リンク設定欄の「リンク受諾」ボタンをクリックします。



2. 案内されたリンクURLを『リンクURL欄』に入力し、「読み込み」ボタンをクリックします。



3. 要求元の情報が表示されます。問題なければ「受諾」ボタンをクリックします。
   心当たりのない会社・社員からの要求だった場合にはボタンをクリックしないでください。



⚠ 注意

- 「リンク要求」ボタンを押してから24時間経過した場合は受諾できなくなります。
  要求からやり直してください。
- 誤って受諾してしまった場合には『リンク解除』をしてください。
  詳細は「リンク一覧」を参照してください。

補足

- NI Collabo 360の社外メールでリンクURL付きのメールを受信した場合、メールの参照画面に「リンク受諾」ボタンが表示されます。
  この「リンク受諾」ボタンからは、ワンクリックで受諾画面に移動することができます。

開始

1. 受諾されるとA社の設定画面にB社が表示されます。
   B社を選択し、問題なければ「リンク開始」ボタンをクリックします。
   要求した心当たりのない会社・社員が受諾していた場合には「リンク拒否」ボタンをクリックします。



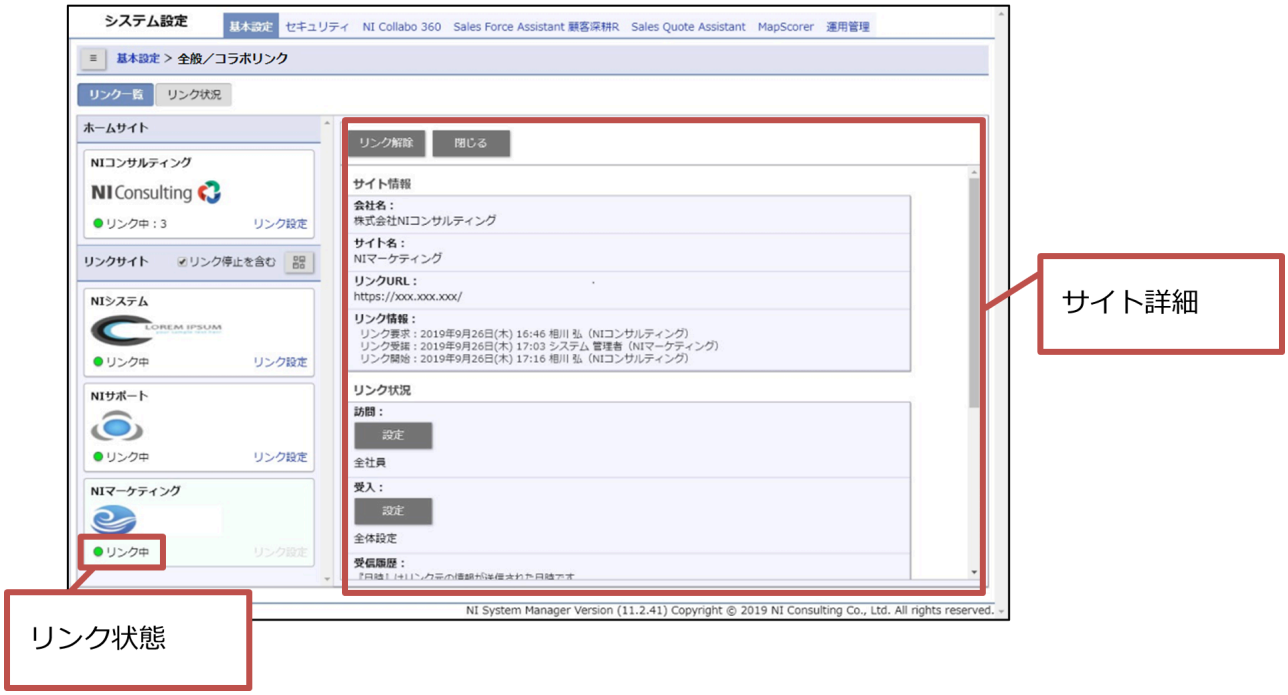
▶ 画面詳細

コラボリンク画面で操作できるその他の操作や、確認できる内容について説明します。

リンク一覧

システム設定の「基本設定」タブより「全般」の「コラボリンク」画面を表示してください。

【コラボリンク> リンク一覧画面】



サイト詳細

リンク状態

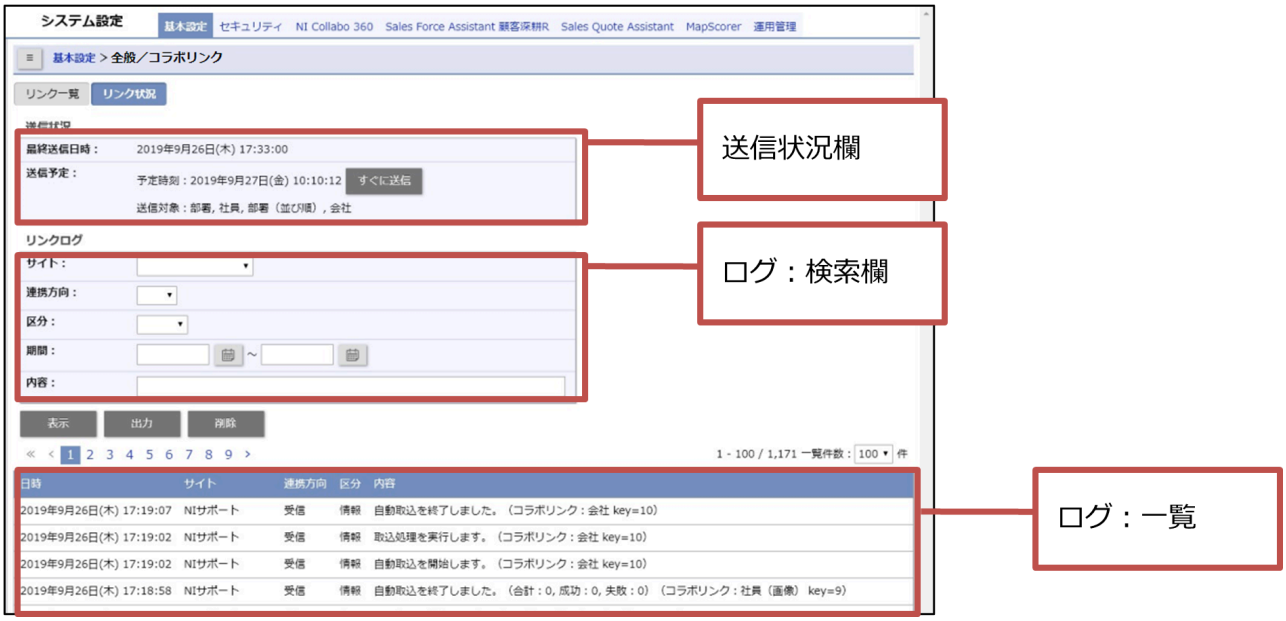
項目名称	説明	
リンク状態	開始待ち	要求が受諾された直後の状態
	リンク中	連携している状態
	リンク停止	連携を解除した後の状態
ボタン	一時停止	ホームサイトにのみ表示されます。 コラボリンク機能を一時停止する場合に使用します。 一時停止すると、データの送受信を行わなくなります。 ※データベースをコピーしたテスト環境等『データを連携させたくない』環境を構築した場合に、このボタンを押してコラボリンク機能を停止してください。
	再開	一時停止中の場合にのみ表示されます。 コラボリンク機能を再開します。
	リンクURL変更	リンクURLを変更し、リンク中のサイトにも反映します。 サーバーのIPアドレスを変更した場合等に使用してください。
	リンク開始	リンク状態が『開始待ち』の場合に表示されます。 ただし、『受諾』したサイトには表示されません。
	リンク拒否	リンク状態が『開始待ち』の場合に表示されます。 ただし、『受諾』したサイトには表示されません。
	リンク解除	リンク状態が『リンク中』の場合に表示されます。 またリンク状態が『開始待ち』でも『受諾』したサイトには表示されます。 連携を解除したい場合に使用してください。 連携を解除した後に、再度連携をしなおすことも可能です。 ※連携を解除しても、スケジュール等の連携した情報は削除しません。ただし、社員・部署・役職等の情報は削除した場合と同じ状態になります。
会社名 サイト名	サイト名が登録されている場合、ユーザー画面にはサイト名が表示されます。 サイト名が登録されていない場合には、会社名が表示されます。	
リンクURL	データ連携や、シングルサインオンで使用するURLです。 ※接続用URLの設定がされている場合には、データ連携にのみ使用します。 シングルサインオンでは接続用URLを使用します。	
リンク情報	リンク要求等の操作を行った日時・社員・当時のサイト名が表示されます。	
訪問	詳細は「連携する社員を設定する」を参照してください。	
受入	詳細は「連携する社員を設定する」を参照してください。	
受信履歴	会社・社員・部署・役職・スケジュール・在席状況の受信履歴です。 日時が表示されていない情報は、未受信の情報です。 『再リンク』ボタンを押すと、上記表の情報を連携しなおします。 バックアップから過去のデータを復元した場合等、データ連携をやりなおしたい場合に使用してくださ	

項目名称	説明
	い。 ※スケジュールは前月1日以降の情報のみを連携しなおします。

リンク状況を確認する

連携がうまくいかなかった場合等、状況がよくわからなくなった場合にこの画面を参照してください。
システム設定の「基本設定」タブより「全般」の「コラボリンク」画面を表示し、「リンク状況」タブをクリックしてください。

【コラボリンク> リンク状況画面】



【送信状況欄】

項目名称	説明
最終送信日時	リンクサイトにデータを最後に送信した日時を表示します。 データを送信している時は「送信中」と表示します。
送信予定	送信予定が存在した場合、送信予定日時と送信対象のデータを表示します。 送信予定日時を待たずに送信したい場合には『すぐに送信』ボタンを押してください。 データを送信している時には「クリア」ボタンが表示されます。 送信中に不測の事態が発生し、途中で送信が止まってしまった場合には「クリア」ボタンを押してください。 「クリア」ボタンを押すと、送信予定をすべてクリアします。 送信予定だった情報は、次の送信のタイミングで再度送信されます。 ※送信予定は、送信対象のデータを登録・更新・削除したタイミングで作られます。 詳細は「データ連携」を参照してください。

⚠ 注意

- ログは10,000件まで一度に出力できます。
  ログが10,000件を超える場合には、検索条件を調整し出力対象が10,000件以下になるように調整してください。
- 1年以上前のログは自動的に削除されます。

▶ データ連携

コラボリンク機能を使用すると、一部の情報が自動で連携するようになります。
対象の情報は以下の表を確認してください。

※連携対象のデータが登録・更新・削除されると、送信予定が作られます。
※送信予定が最後に作られてから15分経過すると、実際に送信を開始します。
※送信を開始しようとしたときに、CSV読み込み等の処理が実行されていた場合には再度15分待機します。
詳細は「リンク状況を確認する」の画面でログを参照してください。

製品 システム共通

情報	補足
会社 部署 役職 社員 接続用アドレス	※社員の一部の項目は連携しません。 具体的には以下の項目です。 【連携しない項目】 ログインID、パスワード、権限、携帯版ログインID、携帯版パスワード、閲覧制限、メールサーバー、メールID、メールパスワード、スケジュール連携 ※社員の表示言語に「日本語」以外が指定されている場合には、「英語」として連携します。 ※社員のロケールに「日本」以外が指定されている場合には、「英語圏」として連携します。 ※その他の設定等は連携しません。 各社のサイトで設定を行ってください。

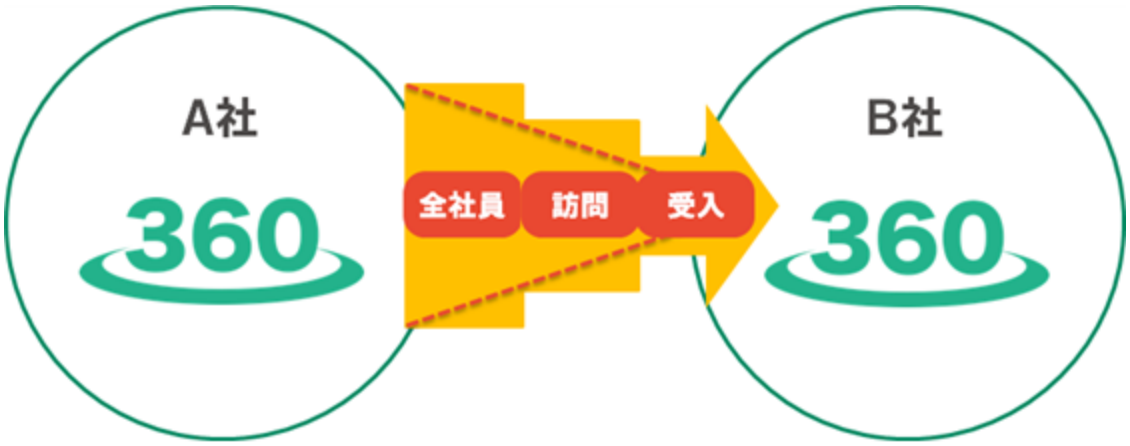
製品 NI Collabo 360

情報	補足
通知	一部の通知情報がリンクサイトで登録された場合、さらにホームサイトに通知を送ります。 ホームサイトに来た通知をクリックすると、該当のリンクサイトにシングルサインオンでログインし、通知元の情報の画面を開きます。 【対象】 ■NI Collabo 360 新着情報（通知、メール、回覧版、ミーティングアレンジ、電帳法ストレージ） ■Sales Force Assistantシリーズ コメント通知、ＤＭＶ通知、重要商談通知、重要業務通知、重要顧客通知、重要案件通知、顧客の声対応通知、担当者アサイン通知、アプローチ依頼 ※ホームサイトに送られてきた通知は以下の期間保持します。 未読の通知：360日 既読の通知：7日
スケジュール	NI Collabo 360のスケジュール一覧画面に表示されるスケジュール、商談情報、業務情報を連携します。 一覧画面に表示される、件名・内容を連携します。 一覧画面に表示された情報をクリックすると、情報が登録されたサイトにシングルサインオンでログインし、該当の情報を表示します。 ※以下の条件に合致した場合に自動で取得します。 ・最後に取得してから24時間経過していること ・アクセス頻発時刻（7:30-10:30、16:30-18:30）以外 ※繰り返しスケジュール登録時の「休日」は、スケジュールを登録したサイトの設定を使用します。 ※繰り返しスケジュールは操作日から370日分のスケジュールのみ連携します。 370日以降のスケジュールは7日ごとに追加取得します。 ※アクセス権（参照）が指定されているスケジュール、閲覧制限の設定されている顧客に紐づく商談情報・業務情報はすべて閲覧不可な情報として連携します。 ※スケジュールオプション設定>連携設定の設定は「表示設定」のみ反映します。 ※案件メンテナンスレイアウトの商談情報は連携しません。 ※閲覧制限の情報は一部の情報（登録されたサイトと連携したサイトの情報）のみ連携します。そのほかのサイトの情報は連携しません。 したがって、情報が登録されたサイトと、連携されたサイトで表示が異なる場合があります。 ※スケジュールに関連する設定は連携しません。 したがって、連携した後に設定を変更すると、情報が登録されたサイトと、連携されたサイトで表示が異なる場合があります。

情報	補足
	※連携した情報を出力した場合、社員・部署は出力されません。 ※登録後すぐにデータ連携したい場合は、手動で取得することもできます。 詳細は「コラボリンク機能との連携」を参照ください。
在席状況	※日付、在席区分、行先・補足、帰社日時、備考が連携します。 NOW履歴や伝言メモは連携しません。 ※リンクサイトの行先伝言共有＞在席一覧画面で在席状況による絞り込みはできません。 ※在席状況はホームサイトでのみ変更できます。

連携する社員を設定

連携できる社員を設定するには『訪問』の設定をしてください。
連携できる社員ごとに連携可否や使用可能な製品・機能を制限したい場合には『受入』の設定をしてください。



補足

- 初期状態では、全社員を参照権限で連携します。
- 『訪問』『受入』の設定を保存すると、連携先のサイトと設定の同期を行います。
  そのため反映までに時間がかかる場合があります。（通常数分以内に完了します。）
  詳細な状況を確認したい場合には『リンク状況』タブで状況を確認してください。

※以下の操作は下図の設定画面から行います。
システム設定の「基本設定」タブより「全般」の「コラボリンク」画面を表示し、設定したいサイトをクリックしてください。

【コラボリンク> リンク一覧画面】



▶ 訪問

A社の社員の中でB社のVMSにログインできる社員の設定をします。
『訪問』の「設定」ボタンを押してください。

下図の設定画面が表示されるので、訪問対象を設定し保存してください。



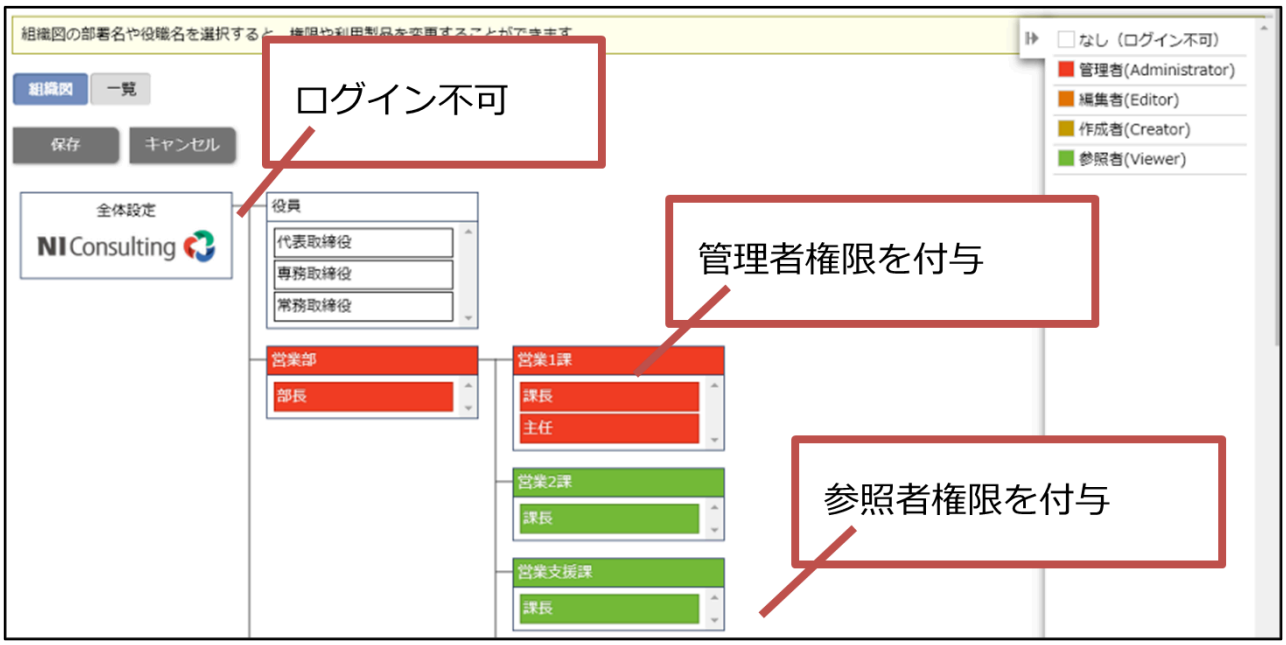
補足

- 初期値は『全社員』です。
- 対象は、社員・部署・グループ・役職から選択することができます。
  いずれかの条件に合致する社員が訪問対象となります。
  （部長を選択している場合、全部署の部長が対象となります。）
  （営業部を選択している場合、営業部や営業部/営業1課の社員が対象となります。）
- 訪問対象になっている社員でも、受入で『ログイン不可』にされている場合にはB社のVMSにはログインできません。

▶ 受入

B社の設定画面で、A社の社員の中でログインを許可する社員を設定します。
ログイン可否以外にも権限や閲覧制限、利用許可する製品等の設定ができます。
『受入』の「設定」ボタンを押してください。

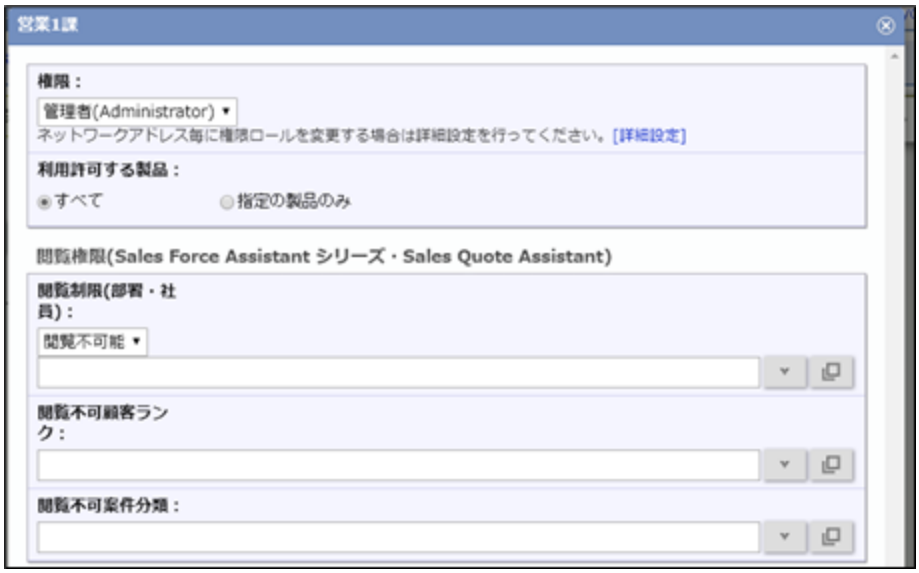
下図の設定画面が表示されます。



補足

- 初期状態では『全体設定』に参照権限が付与されています。
- 上図のように部署や役職ごとに権限の付与等ができます。
- 一覧タブをクリックすると、設定している内容を一覧から確認できます。
  また、社員別に権限などを付与したい場合は一覧から設定してください。
- 設定は以下の優先度で適用されます。
  低　全体設定＜役職＜部署（上位）＜部署（下位）＜部署+役職＜社員　**高**
  ※部署の設定はメイン部署にのみ適用されます。

上図の部署名や役職名をクリックすると、設定用のダイアログが表示されます。
必要事項を入力し「セット」ボタンをクリックします。



項目名称	説明
権限	該当情報の権限レベルを選択します。 ログインさせたくない場合には、『なし（ログイン不可）』を選択してください。 ネットワークアドレス毎に権限ロールを変更する場合には『詳細設定』リンクをクリックしてください。 ※A社の本社にいるときにはログインを許可するが、外出先からはログインを許可したくない場合等に設定します。
利用許可する製品	一部の製品しか利用させたくない場合には『指定の製品のみ』を選択し設定してください。 ※ホームサイトで利用できない製品はリンクサイトでも利用できません。 ※NI Video Academyはリンクサイトでは利用できません。
閲覧権限	閲覧できる（または閲覧できない）対象を設定します。 「部署・社員」「顧客ランク」「案件分類」の3種類の設定ができます。 詳細は「システム設定マニュアル」＞「基本設定」＞「社員」の「社員を登録する」を参照してください。

制約事項

▶ コラボリンク機能を使用するために必要な条件

コラボリンク機能を使用するためには以下のような条件があります。
これはシングルサインオン機能やデータ連携機能を実現するために必要な条件です。ご了承ください。

- NI Collabo 360がインストールされている必要があります。
- 見積共有管理がインストールされている場合は利用できません。
  ※見積共有管理がインストールされていて、コラボリンク機能を使用したい場合には見積共有管理をアンインストールしていただく必要があります。詳細は弊社担当までお問合せください。
- A社とB社のサーバー間でSSL（HTTPS）での接続ができる必要があります。
  コラボリンク機能で連携している場合、相互にデータを送受信するためA社→B社、B社→A社の双方で接続できる必要があります。
  ※SSLでの接続は443ポートのみサポートしています。
  ※自己署名証明書はサポートしていません。
  ※接続元IPアドレスを制限している場合、許可されていないIPアドレスからの通信は利用できません。
  NI Cloud Serviceの接続元IPアドレスも制限されるため、弊社システム設定、セキュリティ＞制限／全体接続制限をご利用ください。
- コラボリンク機能では、ホームサイトを主に使用し、適時リンクサイトにアクセスするという運用を想定しています。
  したがって、リンクユーザー全員が特定のサイトに同時にアクセスするような運用は想定していません。
  このような運用をされる場合には個別に弊社担当までお問合せください。

▶ 機能制限

コラボリンク機能には、以下のような制限も存在します。ご了承ください。

- 443ポート以外でのSSL接続はサポートしていません。
- 自己署名証明書はサポートしていません。
- Basic認証を使用しているサイトとの連携はサポートしていません。
- 製品内での「全社員」系の選択肢は基本的にホームユーザーを対象とします。リンクユーザーは対象外です。
- セキュリティの観点から、リンクサイトにはID・パスワード等のデータを連携しません。
  したがって、リンクサイトでは一部の機能を使用することはできません。
  【代表的な機能】
  各製品＞携帯版、NI Collabo360＞社外メール、NI Collabo 360＞ポータルパーツ（シングルサインオン）、各種アプリ、nyoibox>Priv.BOXの出力認証、API・バッチAPI＞認証ログイン社員、二段階認証、定期パスワード変更
- その他以下の機能もリンクサイトでは使用することはできません。
  【その他の機能】
  NI Collabo 360＞スケジュール＞誕生日表示、NI Collabo 360＞スケジュール＞Web会議システム、NI Collabo 360＞タイムカード、NI Collabo 360＞テレワーク、Sales Force Assistant＞お知らせ便通知、Sales Force Assistant＞人件費マスタ、Sales Force Assistant＞経費マスタ、NI Video Academy

よくあるご質問

Q コラボリンク機能では何サイトまで連携できますか？

A オンプレミスでは100サイトまでを推奨、200サイトを上限としています。NI Cloud Serviceでは50サイトを上限としています。 連携するサイト数が増えると、送信1回あたりの時間および受信する頻度が増えます。

また合計の社員数が増えるごとに各画面を開く負荷も多少増加します。
サーバースペックや画面により増減がありますが、10,000名増えるごとに画面を開くのが0.1~0.25秒ほど遅くなることを確認しています。
合計の社員数は、30,000名までを推奨、100,000名を上限としています。
詳細は弊社担当までお問合せください。

Q コラボリンク機能を使おうとしましたが、エラーになりました。どうしたらいいですか？

A サーバー間の通信に失敗していると考えられます。
コラボリンク機能を使用する条件を満たしていない可能性があります。
詳細は「コラボリンク機能を使用するために必要な条件」を参照してください。

Q データ連携されていないようです。どうしたらいいですか？

A まずは送信状況やログを確認してください。
詳細は「リンク状況を確認する」を参照してください。
解決できない場合、弊社サポートデスクにお問合せください。

Q　データ連携するということですが、それぞれのサイトでデータを更新したりしてデータに不整合がおきませんか？

A　データの更新・削除は、そのデータが登録されたサイトでのみ可能です。
したがって、各サイトで同時に更新して不整合がおこるということはありません。

その他にデータの不整合が起こるケースとして、データの送受信に失敗した場合や、バックアップから復元して過去の状態に戻ってしまった場合が考えられます。（後述）
これらの場合でも、整合性をとりなおすことができるような機能を用意しています。

Q　連携先のサーバーが止まっていたので、データの送信に失敗しました。どうすればよいですか？

A　特にすべき操作はありません。
送信に失敗した場合でも、次の送信のタイミングでデータを連携します。
詳細は「リンク状況を確認する」「データ連携」を参照してください。

Q　サーバーが壊れてしまったので、1週間前のバックアップから復元することになりました。コラボリンク機能で気を付けることはありますか？

A　1週間前の時点で連携していた場合、「再リンク」することを推奨します。
詳細は「リンク一覧」を参照してください。
1週間前の時点で連携していなかった場合には、お手数ですが一度連携を解除したうえで再度連携を開始してください。

Q　一時連携を解除していましたが、もう一度連携することになりました。何か気を付けることはありますか？

A　特筆すべきことはありません。ただし、連携再開時には改めて社員等を連携するため初回連携と同じようにアクセスが頻発する時間帯は避けていただくことを推奨します。
詳細は「可視化経営システム（VMS）を連携する」を参照してください。

Q　サーバーのIPアドレスを変更しました。何か気を付けることはありますか？

A　リンクURLの変更を行ってください。
詳細は「リンク一覧」を参照してください。

Q　テスト用の環境を作るために、運用中の環境のデータベースをコピーしました。何か気を付けることはありますか？

A　コラボリンク機能を一時停止してください。
詳細は「リンク一覧」を参照してください。
一時停止をしないと、テスト環境で保存した情報が連携先のサイトに反映されてしまう可能性があります。

Q　停電があるので、サーバーを停止する予定があります。何か気を付けることはありますか？

A　特にありません。
停電中にデータは連携されませんが、次のタイミングでデータが連携されます。
すぐに連携したい場合には「再リンク」してください。
詳細は「画面詳細」を参照してください。